

公式配布用

ヒナモロコ親会  
Hinamoroko Foster-parents Club (略称 HFC)

平成 15(2003)年度活動報告書

ヒナモロコの成魚 雄



(婚姻色の出た個体) 撮影；橋本 哲男

## 《 目 次 》

	頁
巻頭言 「ヒナモロコの現状と課題」	2
ヒナモロコのこと	3
ヒナモロコのプロフィール	
平成 15(2003)年度活動記録	4
平成 15(2003)年度活動実績	5
資料 ヒナモロコ飼育奮戦記	
活動報告 其の一 私のヒナモロコ飼育方法	6
活動報告 其の二	7
活動報告 其の三	8

### 会員通信

### ヒナモロコ通信

- 第 17 号
- 第 18 号
- 第 19 号
- 第 20 号
- 第 21 号
- 第 22 号
- 第 23 号
- 第 24 号
- 第 25 号
- 第 26 号

### ヒナモロコ里親会の歩み

規 約

会員名簿(順不同)

編集；「ヒナモロコ里親会」実行委員会



於；大字田主丸字柳町  
事務局スナップ



## ヒナモロコの現状と課題

「ヒナモロコ里親会」実行委員会

実行委員長 大石 敏

絶滅が心配されていたヒナモロコが1994年11月に田主丸町の小さな水路で80尾あまりが発見されて以来、絶滅から救うための保護・増殖活動が、様々な団体の協力で実施されてきた。現在、実質的な増殖活動ができているのは私たちの「ヒナモロコ里親会」だけと言っても過言ではない状況です。しかしながら「里親会」の運営費はもっぱら会員の会費のみで、大部分が通信費となり、えさ代等は会員個人の負担となっていました。(社)日本動物園水族館協会の助成を受けることができ、大いに助かったことは言うまでもありません。結果として別紙に示す通り、本年は5600尾余りのヒナモロコを放流することができました。

しかしながら、私たちの調査では、放流場所での自然繁殖の様子は見られるものの、それ以外の場所での生息は確認できていません。すなわち生息域の拡大には至っていないのが現状です。従って現在ヒナモロコは今回放流した5600尾あまりと会員が自宅等で飼育している稚魚と親魚10000尾(推定)が生息していることとなります。まさに細々と種を維持している状況である。また、近親交配に近い状況もあり、遺伝子の偏り等を憂慮していましたが、琵琶湖博物館の特別研究員の大原氏の研究によると、遺伝子の多様性は確保できていることがわかりました。毎年、親魚を交換していることが幸いしているようです。

今後の課題としてヒナモロコが自然繁殖していくような放流の工夫と新たな放流場所の確保および放流場所を含む地域環境の保全対策が重要である。その具体的な取り組みを専門家の意見等を取り入れながら進めていく必要があります。

((社)日本動物園水族館協会への報告書から 2003.11.12)

## 《ヒナモロコのこと・・・》

ヒナモロコの成魚 雌



ヒナモロコの成魚 雌



撮影；橋本 哲男



ヒナモロコの産卵行動

撮影；村上 政利

## 《ヒナモロコのプロフィール》

学名	<i>Aphyocypris chinensis</i> Günther
科・属	コイ科ハエジャコ亜科ヒナモロコ属
地方名	タバヤ、トンコスバヤ、メダカ、など
全長	6 ~ 7 cm程度
染色体数	2n = 48
分布	北部九州、国外では朝鮮半島、中国大陸
近似種	カワバタモロコ。オイカワ、カワムツの稚魚。モツゴなど
生息場所	流れの緩やかな小河川の淀みや細流、水路、浅い池など

ヒナモロコの卵(8 ~ 16 細胞)



ヒナモロコの稚魚(孵化直後)



\*

## 《平成 15(2003)年度活動》

ヒナモロコ里親会としては第 6 回(6 年目)の活動として、貴協会の助成を受け、次の表のような活動を実施しました。 平成 14 年 11 月～ 15 年 10 月(2002～03 年)

H 15 年 10 月 30 日現在 登録会員 合計 53 名

月	日	活 動	内 容	開催場所
11	24	里親集会	前年度の総括と反省会 H 15 年度の計画、打ち合わせ	ふるさと会館
1	19	準備・打ち合わせ	H 15 年度の計画・打ち合わせ	田主丸中学校
2	23	里親集会	ヒナモロコの相互交換 (昨年度各自飼育したヒナモロコの親魚を持ち寄って、会員同士で <u>半分ずつ</u> 相互交換する) 新加入里親任命式	田主丸中学校
3	23	里親集会	ヒナモロコの相互交換 甲(池)の生態調査	田主丸中学校
4	20	里親集会	自然水路の生態調査 飼育報告会 飼育記録の発表 最初の産卵日など、	田主丸中学校
5	25	里親集会	乙(堤)の生態調査 飼育報告会 川に入って魚取りします。	田主丸中学校
6	22	里親集会	飼育報告会 講習会/講師木村清朗氏(元九大教授) 講師大原健一氏(琵琶湖博物館)	くるめウス
7	20	里親集会	飼育報告会 (雨天)	田主丸中学校
8	24	里親集会	自然水路の生態調査 (雨天)	田主丸中学校
9	21	里親集会 放流会	水辺の教室 午前 10:00~(耳納塾協賛) (小、中学生も参加して、大人と一緒に川に入り、網で魚取りをする行事) 活動報告書の作成準備	田主丸中学校
10	19	里親集会	放流会 上記に参加できなかった会員 活動報告書の作成	田主丸中学校

## 《平成 15(2003)年度活動実績》

産卵・飼育等の増殖活動を通して増えたヒナモロコを平成 14 ~ 15(2002 ~ 3)年度の活動として以下の 3 地点に次のように、2 回に分けて放流した。

	放流場所	放流数	
ヒナモロコ放流会(1回目)	甲(池)	835 尾	9月21日 (日曜日)
	乙(堤)	715 尾	
ヒナモロコ放流会(2回目)	甲(池)	1,204 尾	10月19日 (日曜日)
	乙(堤)	1,520 尾	
	丙(水路)	1,400 尾	
総合計		5,674 尾	

\*放流場所の具体的地名は伏せております。

ヒナモロコ放流会(1回目)  
平成 15(2003)年 9月 21日(日曜日)  
甲(池)



ヒナモロコ放流会(2回目)  
平成 15(2003)年 10月 19日(日曜日)  
甲(池)



乙(堤)

丙(水路)



撮影；村上 政利

## 《ヒナモロコ飼育奮戦記》

### 活動報告 其の一

#### 私のヒナモロコ飼育方法

村下 満寿雄

ヒナモロコを飼う前から川魚を水槽で飼っていたので、水槽は観賞魚用の様に下に砂を入れ、そこに水草を植えて魚を飼っている。産卵槽には多めに水草を植えるぐらいで、特別なことはしていない。ヒナモロコ用には 60 cm水槽 4 本と稚魚の入れ替え用に 40 cmと 36 cm水槽 2 本を使っている。

産卵は、親を産卵槽に移し、産卵を確認すると親を元の水槽に戻すやり方で行っている。この方法だと水草についた卵だけでなく下に落ちた卵も孵化するので一度の孵化数が多いと思われる。

産卵で困るのは、普段は昼間家にいないので産卵したかどうかわからない、卵が小さく草に産み付けられていてもなかなか見えないなどがあるので、水槽に黒っぽい石を入れ、石に付着した卵を探すことで産卵を確認している。産卵については、当初なかなか産卵しなかったので、次のことに注意しながらやっている。

親魚のエサについては、配合飼料のほか動物性のもので冷凍アカムシを与えている。

普段は夜遅くまで蛍光灯を点けているが、産卵前は早く消す。

産卵槽には、水草を多く植え、親を入れる前に水換えをする。

入れる親魚は、10 匹 ~ 15 匹程度とし、オスを多めに入れる。

以上のようにしていると産卵時期(5 ~ 6 月頃)は、ほとんど翌日か、2・3 日以内に産卵している。

産卵日は、稚魚にエサを与え始める日が、週末になるように調整している。普段昼間家にいないので、朝と夜しかエサを与えられないが、稚魚がエサを食べ始めるときは食べ残しが出ないように出来るだけ少量ずつ回数を多く与えたいと思っている。

孵化した稚魚はそのまま 1 ヶ月ほど産卵槽で育てる。稚魚のエサは、卵黄と乾燥ミジンコや稚魚用配合飼料などを粉砕したものを水で溶いてスポイドで与えている。2 ~ 3 週間過ぎると稚魚に大小が出て来て共食いを始めるので、大きい稚魚から別の水槽に移している。水換えは、産卵直後に親を出した後に行いその後 2 週間ぐらいは稚魚の体力を消耗させないため水換えはしてない。

このような方法で、稚魚の生存率は孵化後 2 ヶ月で約 50 %ぐらいです。春先に生まれた稚魚ほど生存率は低く、6 月以降に生まれた稚魚の方が生存率は高くなっているようです。また、一度の孵化数でも 100 匹以下と 100 匹以上とでは、水槽の大きさ関係もあるのですが、少ないほうが生存率は高くなっています。60 cm水槽で孵化後 1 ヶ月そのまま飼うと、生存率は 150 匹位が限界のように感じています。

水槽が足りなくなった時は、外に衣装ケースを置き、その中で孵化した稚魚を育てています。家の中の水槽で飼育するより夜エサを与えない分発育や生存率は悪いようですが、それなりに育っているようです。

完

## 活動報告 其の二

中村 民治

皆様こんにちわ、私は“ヒナモロコ”二期生で、高田町出身の中村民治です。職業は魚屋をやって30年位になりまして、外にも趣味を兼ねて頑張ってます。

この間、日本の人口位の魚を各家庭に配達して来ました。私にとって“ヒナモロコ”を放流することで、少しでも罪滅ぼしになりはしないかと思っています。

それにしても、“ヒナモロコ”を1年かけて育て、放流する時は1年間の苦勞を忘れさせてくれるものですね！

私は“ヒナモロコ”の里親を、長く楽しみながら育て続けるためには、水換えを簡単に済ませる事だと考え、水流しの出来る屋外に設置致しました。また、藻に産卵する卵を取り出し易いように黒色の大きな網の中に産卵させています。このように今後も工夫しながら、出来る限りの手間暇を省いて元気な“ヒナモロコ”が育つようにと、日々考えています。

私達は、役員の方々の誠実な奉仕活動には頭の下がる思いでありますので、解散を告げられない限り続けて行くことで、大きな事を言えば日本の魚種を守ると言う大儀を、気負わずに続けて行きたいと思っております。

皆様立派な方々ばかりですが、私の家にも泊まりに来て頂きたいものです。

ムゾガりますよ！ (大切におもてなしをすると言う事。)

2003.11.12



1, 田主丸中学校 選択授業(ヒナモロコ班)の取り組み

田主丸中学校では、本年度も「ヒナモロコ」の保護活動およびヒナモロコを通じた自然環境の学習を選択授業の中に取り入れ、活動することになりました。この活動は3年目に入り、近隣の学校や公的機関、地域のボランティア活動グループ(ヒナモロコ里親会)との連携もさらに深まりました。

- 活動名 町の天然記念物「ヒナモロコ」の生態や飼育に関する研究
- 活動内容 ヒナモロコの飼育、増殖
- ヒナモロコについての調査研究
- ・ ヒナモロコと自然環境との関わり
- ボランティア組織「ヒナモロコ里親会」への参加
- ・ 飼育、増殖の仕方
- 淡水魚調査
- 全国的な淡水魚保護活動の学習

メンバー

2年生	土師 早織	3年生	平 悠太郎
	倉富 淳		野口 和輝
	佐藤 朱美		横溝 勇哉
	中村 沙耶		浅原 龍彦
	石井 昭平		上野 真
	茅島 杏奈		菊川 達彦
	後藤 大輔		行徳 昭平
	矢ヶ部咲江		桑野 泰英
	岩佐 久美		高山 史陽
	永松 里沙		田中 雄基
	福島 幸菜		野上 祐介
	保坂 麻美		倉富 崇
	石井 雄基		古賀 憲太
	隠塚 尚孝		坂本 慶
	堺 敏博		吉岡 佑毅
	清水 智也		吉岡 裕太
	竹下 侑樹		立石 正登
	竹津 翔平		永松 隼
	田中 貴尚		大熊 芳岳
	吉岡 敬之		隈 旬章

、活動のあらまし

- 2月23日 第1回里親集会。ヒナモロコの相互交換。
- 3月23日 第2回里親集会が行われ、ヒナモロコの親魚の分配をする。
- 4月～ ヒナモロコの親を120cm、90cm、60cm、の水槽に入れ、飼育、増殖を開始。  
産卵が始まり、卵の付着した水草を小さな水槽に移す。
- 4月20日 第3回里親集会。公園の池の生態調査。飼育報告。
- 5月13日 第1回選択授業。2人に1つずつ、産卵用水槽を担当し、餌やり、水替えの順番を決める。
- 5月18日 第4回里親集会。飼育報告。堤の生態調査。
- 6月17日 第2回選択授業。産卵を確認し、水槽の水換えをする。
- 6月22日 第5回里親集会。講演会（講師 琵琶湖博物館 大原健一及び元九大教授 木村清朗）
- 7月 1日 第3回選択授業。ヒナモロコ池の清掃。
- 7月 8日 第4回選択授業。ヒナモロコや淡水魚、自然保護の学習。
- 7月20日 第6回里親集会。
- 8月～ この間、約1000匹のヒナモロコの稚魚が育つ。
- 8月24日 第7回里親集会。巨瀬川淡水魚調査。
- 9月21日 第1回放流会。約300匹を田主丸の公園の池に放流。  
巨瀬川淡水魚調査。
- 9月30日 第5回選択授業。秋の産卵用の水槽の準備。
- 10月19日 第8回里親集会。第2回放流会。本年度生育したヒナモロコを田主丸の公園の池及びその他の池に放流。
- 10月 7日 3年生第3回選択授業。学校前の水路の淡水魚調査をする。
- 10月28日 第6回選択授業。学校前水路の淡水魚調査。
- 11月11日 第7回選択授業。学校前の水路の淡水魚調査及び日本の淡水魚の現状と保護についての学習。。
- 11月16日 貯水池の清掃及び淡水魚調査実施。

# ヒナモロコ通信 第17号

平成 15年 2月 吉日  
(社)日本動物園水族館協会助成活動

平成 15(2003)年度の活動スタート

2月の予定 第一回定例会合  
2月23日(日曜) 午前10:00~  
於;田主丸中学校

## ヒナモロコの相互交換

(昨年度各自飼育したヒナモロコの親魚を持ち寄って、  
会員同士で半分ずつ相互交換する)

\* 欠席の方のみ、ご連絡を必ずお願いします。

平成 15年(2003)の最初の会合を来る2月23日(日曜日午前10.00~)つつがなく迎えることが出来るようになりました。会員の皆様に置かれましては、本当にご苦労様ですが、本年も宜しくお願い申し上げます。

皆様のおかげで、昨年はヒナモロコ放流数を合計5,493尾と記録することが出来ました。又本年は(社)日本動物園水族館協会の助成金を得て、それなりにお金を使った活動が出来ますので、餌の他にもエアストーン(分散器)、エアポンプが欲しいと言った具体的な要望に積極的な(?)対応が可能かもしれません。いずれにしろ会員各位の経済的負担をいくらかでも軽減することを考えていますので、宜しくご意見・ご提案をお願いします。



乙(堤)で水浴びして遊ぶ  
カササギ(カチガラス)  
(2003.02.07 写真-村上)

\*

## ヒナモロコ通信 第18号

平成 15年 3月 吉日  
(社)日本動物園水族館協会助成活動

平成 15(2003)年度の活動スタート

3月の予定 第2回定例会合  
3月23日(日曜) 午前10:00~  
於;田主丸中学校

### ヒナモロコの相互交換

(昨年度各自飼育したヒナモロコの親魚を持ち寄って、  
会員同士で相互交換する)

## ヒナモロコ通信 第19号

平成 15年 4月 吉日

2.タカハヤ、1.カワバタモロコ、3.4.タモロコとヒナモロコの事  
皆さんが持ち寄って下さったヒナモロコの稚魚(3センチ前後)の中に、タカハヤ(アブラメ)が一尾いました。



光の当たりようで側線が黒く浮き上がります。

2.はちょっとデブになったタカハヤ(撮影時約4センチ)ですが、4センチ以下の個体は大変よく似ています。

更に良く似ているのが3.4.のタモロコ(撮影時約4センチ)です。8年程前宝満川で捕獲したとき、ヒナモロコを捕まえたとき心臓がドキドキしたことを思い出しました。しばらくの間、勘違いだと判らず、判ってがっかりしました。(編集者)

### 甲(池)の水抜き

公園の池は剪定された木の枝やゴミも加わって、池の排水溝をふさぎ、上の池と下の池の中間部で氾濫して道路に流れ込む状態となっていました。為に下の池は滞留シアオモが大量に発生して水が腐り、悪臭を放つ程になっていましたので、上下の池の水抜きをやむなくすることになりました。

田主丸町役場企画振興課からの要望に基づき、緊急ではありましたが、耳納塾が水抜き・清掃を 4.13 に実施しました。



# ヒナモロコ通信 第 20 号

平成 15年 5月 吉日

平成 15(2003)年度の活動  
5月の予定

第 4 回定例会合 5月 25 日(日曜) 午前 10:00~  
於; 田主丸中学校 (従来通り)

内容; エアポンプ他、再利用の為に!! 修理します!  
空気の出が悪くて使わなくなったエアポンプなどの器具はありませんか。  
修理パーツ(各種部品)を用意しますので、全員で修理して使えるように  
します。  
ガラス水槽にひびが入って使えない!! これの修理道具も用意します。  
希望者のみ 各自昼食後 胴長で、川に入ります(ない方は用意します)。  
\* 強力ブロアー(エアポンプ)とエサを用意しています。出席者優先で配ります。

里親集会スナップ(2003.2.23)



教室での意見交換



バケツに入れて持ち寄ったヒナモロコを会員相互で混ぜ合わせ、  
再び 20 ~ 30 尾を目安として、再度分配した。

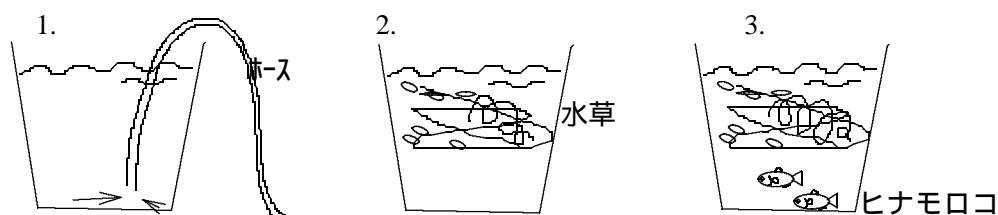
## 電気に依存した飼育

5月 6 日午前に筑後市で停電がありました。原因不明の停電で、3 時間ぐらいであったようですが、ヒナモロコ水槽の酸素供給を電気ポンプに頼っている会員河野正行さん宅ではヒナモロコがアブアブして非常事態であったようです。まもなく電気は回復して事なきを得たと連絡を頂きましたが、これは会員共通の起こり得る問題です。

(財)九州環境管理協会の野中さんからは常々電気機器に頼らない飼育を提言されています。

しかし会員の水槽は、その大きさに見合う以上のヒナモロコを飼育しているのが現状ですから、これは水槽を増やす以外に解決策が見当たりません。

ではどのように飼育槽を増やすかということになります。方法は「バケツ(特に漬物用はよい)」を利用する事です。安くて直ぐに手に入ります。では一般的バケツの利用法を下記に書きます。



ホースをバケツにつけて

吸うと、底の汚物だけ排出できる。但しヒナモロコも一緒に吸い込まないように注意すること。

経験的には口径 30 センチのバケツで、以下のような条件が必要です。

50 mm前後の親魚で 5 ~ 7 尾、35 mmまでの稚魚であれば 10 ~ 15 尾はいける。

水草が図のように入っていて下にいるヒナモロコが見えない。

十分日光が当たる

(エアーなしで、水草が入っているとバケツの下半分はほとんど水温が上昇しない)

この状態で水がグリーン色になれば成功です。灰色に濁ってくると失敗で、

確実にヒナモロコが死にます。

ヒナモロコの排泄物に含まれる窒素等の有機物が植物プランクトンの増殖に作用しその結果動物プランクトンが自然発生し、ヒナモロコの食べ残した餌や排泄物を分解するという自然界のリサイクルが起こり、それが又ヒナモロコの餌となるので、エアーレーションなしでの飼育が可能になると経験的に考えられるのです。

エアーを入れませんかから与える餌の食べ残しとヒナモロコ自身の排泄物等分解されないものなどはバケツの底に溜まりますので、1.の様にノズルサイホン方式で底をさらい、減った分だけきれいな水を足します。産卵したら水草だけ移動させれば便利です。

この飼育方法の最大の欠点は、ヒナモロコを上からも横からも観察できない為に、本当に生きているのやら、と心配になることです。経験的には、水がグリーン色(アオコの種類)になって死んだヒナモロコは一匹もいません。

村上 政利

# ヒナモロコ通信 第21号

平成 15年 6月 吉日

(社)日本動物園水族館協会助成活動

平成 15(2003)年度の活動

6月の予定

第5回定例会合

6月25日(日曜) **午前 10:00~12:00**

於;「筑後川発見館」“くるめウス”

講演;木村清朗 元九州大学教授

大原健一 琵琶湖博物館特別研究員



本館(南東の方角から見て)



アーチ形の入り口

展示  
パネル



小型  
水槽





飼育用具の“**修理工房**”を開設します。

内容；エアープンプ他、再利用の為に！！ 修理します！

空気の出が悪くて使わなくなったエアープンプなどの器具はありませんか。  
修理パーツ(各種部品)を用意しますので、全員で修理して使えるように  
します。

ガラス水槽にひびが入って使えない！！この修理道具も用意します。



5.25「ヒナモロコ親会」での  
橋本先生によるポンプ修理の実演

好評につき

“**修理工房**”を開設します。

\* 強力プロアー(エアープンプ)とエサを用意しています。  
出席者優先で配ります。



プロアー  
8000

## ヒナモロコ通信 第22号

平成 15年 7月 吉日  
(社)日本動物園水族館協会助成活動

平成 15(2003)年度の活動  
7月の予定

子供達と一緒に川に入って魚取りをします！！！！

第 6 回定例会合

7 月 20 日(日曜) 午前 10:00~12:00

於 ; 田主丸中央公民館前(田主丸町役場の裏手・南側)

恒例 “水辺の教室” です



昨年 8.18 のスナッフ



5.25 「ヒナモロコ里親会」のスナッフ  
里親会で魚取りしました

里親訪問 高橋 忠祐さん (大牟田市)

南向き居間から庭に通じる一角に水槽が並べてあった。



親魚は 3 年から 4 年もの。  
今年はまだ産卵がないと  
(6 月)。

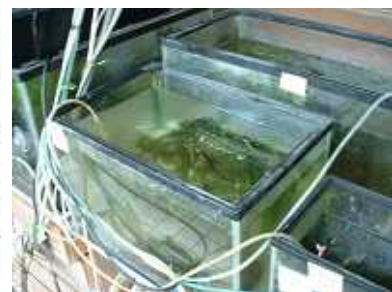
立派な成魚なので、大きな  
産卵が期待できるが、逆に  
立派すぎて(太りすぎて?)  
産卵しないのかもしれない。



キレイに掃除された水槽にヒナモロコが元気に泳いでいました。



金魚も泳いでます



\*

6.22 久留米市「くるめウス」の「ヒナモロコ親会」講演会は大成功でした。  
誌上を借りまして、講師の方々に御礼申し上げます。

講演；木村清朗 元九州大学教授

「くるめウス」名称の由来とニッパ<sup>°</sup>ヅラ<sup>カゴ</sup>について



講演；大原健一 琵琶湖博物館特別研究員

ヒナモロコについて、特に奇形の現出について、  
アユの増殖に於ける経験上の有意義なデータを  
お話下さいました。

#### 新会員の紹介

高山 憲行	福岡県立朝倉農業高等学校
荒瀬 尚三	福岡市立早良小学校
大原 弥寿男	福岡市早良区原
熊谷 雅博	付属久留米小学校
梶原 信宏	浮羽郡田主丸町大字田主丸

\*

# ヒナモロコ通信 第23号

平成 15年 8月 吉日

(社)日本動物園水族館協会助成活動

平成 15(2003)年度の活動

8月の予定

第7回定例会合 8月24日(日曜) 午前 10:00~12:00

於; 田主丸中学校

川に入り、魚類の調査をします。

緊急情報!!

7.20に中止になった「水辺の教室」を9月にやるように耳納塾が計画しています。

里親訪問 中村 民治 さん (高田町)



色々な試行錯誤の結果、出来上がった理想的なシステムとなっている。親魚を玄関で飼育し、稚魚を庭のガラス水槽と木枠とビニールでこしらえた

人造池(水槽)で飼育している。その為にミジンコ等のプランクトンが発生しやすい環境が出来上がっている。

中村氏談「今年はかなりの数のヒナモロコを放流できます」と。

水草に産卵させて、その水草をキッチリと

庭の水槽に移動させて、大量のふ化に成功している。



庭のガラス水槽の

ヒナモロコにエサをやっている中村さん。



庭の一角にレンガで枠を組み、ビニールを敷いて防水した手作りの水槽に



ヒナモロコの稚魚が元気に泳いでいた。(6月)



親魚に食べ  
させるギン  
ギョ用の  
エサ。

## ヒナモロコ通信 第24号

平成 15年 9月 吉日

(社)日本動物園水族館協会助成活動

平成 15(2003)年度の活動

第 8 回定例会合

9月 21日(日曜) 午前 10 : 00 ~

於 ; 田主丸中央公民館前(田主丸町役場の裏手・南側)

“ 水 辺 の 教 室 ”

第一回目の放流も行います。ヒナモロコを持ってきて下さい。

決定!!

(社)日本動物園水族館協会からの助成金を次年度も頂くことになりました。

全会員のたゆまぬ努力の積み重ねと思います。これを励みに年々活動の輪が広がっていくようにお互いにガンバリましょう。

里親訪問 金岡 洋行 田主丸郵便局長(新任)

\*前任・上野 高志さんは九州支社(熊本)へ転勤となりました。



元気なヒナモロコ



田主丸郵便局は大変忙しい。

前任者上野さんを引き継いで、金岡さんが新しく局長となりました。かねがね多忙の中でどんな管理をされているのか不思議に思っていたのですが、担当者を決めて、まめに水槽の掃除をされています。いつ郵便局に行ってもヒナモロコが元気に泳いでいます。

皆さんも、ぜひ立ち寄って見て下さい。

## ヒナモロコ通信 第25号

平成 15年 10月 吉日

(社)日本動物園水族館協会助成活動

平成 15(2003)年度の活動

第9回定例会合 10月19日(日曜) 午前 10:00~12:00

於; 田主丸中学校

内容 第2回目の放流をします。

(社)日本動物園水族館協会助成金の会計報告と活動内容の総括。

次回本年最後の定例会合。日時の決定等・・・。

\*

9.21 里親会-水辺の教室/第一回放流



放流 甲(池) 次回と合わせて  
放流数を集計します。



筑後川・巨瀬川水系の中でも、  
こんな水遊びの出来る場所はここしかない？  
のではなからうか！



参加した子供達より、大人の数が多い！



絶好の日和に恵まれ、川面に照りかえる  
日差しがまぶしかった。

何が取れたのかな？



みんなで捕った魚を  
水槽に入れて、橋本先生に、  
その魚の説明をしてもらいました。



取れた魚  
メカ フナ  
アリアゲバチ  
ナズ オイカ  
カムツ カセトゲタナゴ  
ニッポソバラタコ  
カヒガイ ヤシロミ  
トヨシホリムギツ 他

平成 15(2003)年度の活動

11月の予定

第10回定例会合 11月16日(日曜) **午前 10:00~12:00**  
於; 田主丸中学校

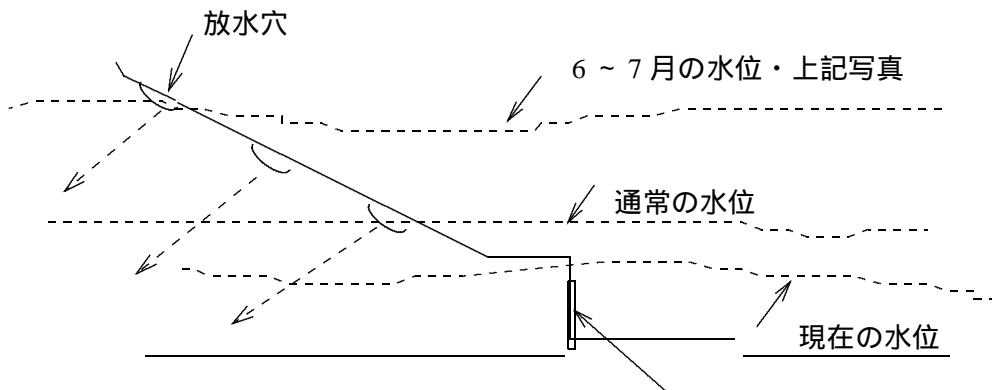
内容 乙(堤)の「水揚げ」と魚類調査、堤の補修等。

バケツ、胴長、網などが必要です。

(社)日本動物園水族館協会助成金の会計報告と活動内容の総括。  
次回本年最後の定例会合。日時の決定等・・・。



次ページ放流写真と比べると水位上昇が判る。



底フタ(木製。平成12年に新品と取り替えた)

### 今回の目的。

現在の水位から判断して、6~7月の増水による水圧で、底板が変形し、その変形部分から水漏れしていると判断される。このまま放置すると水位がますます下がるばかりでなく、次回の大雨による増水があった場合に、底フタが破損し、決壊して下流域に予想外の被害をもたらす危険がある。よってその危険を除去すると共に、放流しているヒナモロコの生息域を確保し、その保護を行う。

\*底フタを「木製」から「ステンレス製」にする。



10.19 ヒナモロコ放流会



乙(堤)にて



公園で



水路

放流数	9.21	1,550 尾	
	10.19	4,124 尾	合計 5,674 尾

里親訪問 休み (次回 九州環境福祉医療専門学校・福田先生です。)

平成 16 年度(2004)の予定

第 1 回定例会合 2月 未定日(日曜) 午前 10:00~12:00  
於; 田主丸中学校

\*年間予定表をご覧ください。

新会員のご紹介

高山 憲行  
高田 克博  
下須賀 みえ

甘木市朝倉農業高校  
飯塚市柳橋  
北九州市門司区

以上

\*

## 《ヒナモロコ里親会の歩み》

敬称略

- 氷河期 「ヒナモロコ」大陸から九州へ？  
1937年 「ヒナモロコ」日本で初めて報告（森）  
1947年 「ヒナモロコ」の生息場所の報告（今井）  
多々良川、那珂川、筑後川、宝満川の各水系
- 平成3年(1991) 環境庁が絶滅危惧種に指定。  
1月 北野町で確認(渡辺)  
10月 田主丸町巨瀬川北側の古川水系で確認(橋本)  
この記録以降生息が確認できなくなった。
- 平成4、5年(1992-1993) 耳納塾をはじめとするボランティアの活動として、  
「ヒナモロコ」探索の開始。
- 平成6年(1994) 11.19 シンポジウム「ヒナモロコのつばやき」開催  
主催；耳納塾(西村、高山)  
ヒナモロコの展示(再発見につながる)  
講師は木村清朗先生(九大農学部教授・当時)。  
11.下旬 田主丸町巨瀬川南側の水路で再確認(内山)
- 平成7年(1995) 2.10 生息地水路の多自然型工法での改修を決定。  
(ミサ&ヒナモロコ倶楽部、井上ほか善院地権者)  
5.24 ヒナモロコプロジェクト第一回会合  
愛称を「ヒナモロコ救助隊」と決定。  
(井、岩佐、竹上、日野、馬田、石橋、川崎、丸林、有村ほか)  
6.22 町指定天然記念物として告示  
(田主丸町 右田町長、田主丸町教育委員会 山下教育長)  
7.20 竹野小学校のヒナモロコ産卵孵化を確認  
(竹野小学校 古賀校長、袋野教諭、小学校児童、PTAの皆さん)  
12.09 耳納塾主催シンポジウム「ヒナモロコのつばやき」第二回
- 平成8年(1996) 4.19 町と(財)九州環境管理協会との間で、  
増殖事業委託契約締結(一回目)。  
4.26 乙堤へ稚魚放流(約1000尾)  
5.07 田主丸町立小・中学校校長会にヒナモロコ飼育を依頼  
6.20 ヒナモロコ放流祭

- 平成 9 年(1997) 4.1 町と(財)九州環境管理協会との間で、  
増殖事業委託契約締結(二回目)。  
12.14 耳納塾主催シンポジウム「ヒナモロコのつぶやき」  
里親方式によるヒナモロコの保護活動を立案(高山)。
- 平成 10 年(1998) 3.22 第一回ヒナモロコ里親任命式(耳納塾主催・林、高山)  
(田主丸町教育委員会 山下教育長)  
ボランティアによる本格的増殖活動の開始  
9.13 ヒナモロコ放流(3 保存地区)  
10.18 第一回ヒナモロコ保全対策委員会の発足  
(社)日本水産資源保護協会の委託事業。(木村、金子)  
11.15 乙の堤にてヒナモロコ放流
- 平成 11 年(1999) 3.14 第二回ヒナモロコ里親任命式  
6.13 フォーハートクラブ社会貢献団体選考委員会から表彰。  
9.19 ヒナモロコ放流  
第二回ヒナモロコ保全対策委員会
- 平成 12 年(2000) 3.20 第三回ヒナモロコ里親任命式  
7. 第三回ヒナモロコ保全対策委員会(終了)  
9.23 ヒナモロコの放流(1 回目)を伴リス・グランドワーク協会と  
(財)日本グランドワーク協会(福岡市)の参加を得て  
日英ヒナモロコ交流会として開催 イギリス人親子 24 名参加。  
10.22 ヒナモロコ放流会(2 回目)
- 平成 13 年(2001) 1.21 「ヒナモロコ里親」の会を耳納塾の後援を得て、  
分離独立することを決定。  
2.18 「ヒナモロコ里親会」の設立。(大石)  
3.上旬 福岡県レッドデータブック 2001 にて絶滅危惧種指定。  
3.20 第四回ヒナモロコ里親任命式  
於；田主丸中学校 主催；ヒナモロコ里親会  
(田主丸町町長 馬田 博、教育委員会委員長 古賀忠義)  
9.16 ヒナモロコ放流場所の確保のために、  
甲の池を整備し(1 回目)、ヒナモロコを放流。  
9.23 ヒナモロコ放流会(1 回目)  
10.21 ヒナモロコ放流会(2 回目)  
甲の池を整備(2 回目)。

\*

- 平成 14 年(2002)
- 3.10 平成 13(2001)年度活動報告書の編集・製作・発行。  
第五回ヒナモロコ里親任命式
  - 8.18 水辺の教室 午前 10:00~
  - 8.27 (社)日本動物園水族館協会より  
平成 14 年度野生動物保護募金の助成団体に決定。
  - 9.15 ヒナモロコ放流会(1 回目)
  - 10.20 ヒナモロコ放流会(2 回目)
  - 11.10 中学生の水辺の教室(浮羽0-列-クラブ の後援)
- 平成 15 年(2003)
- 3.23 平成 14(2002)年度活動報告書の編集・製作・発行。  
第六回ヒナモロコ里親任命式
  - 8.26 (社)日本動物園水族館協会より (第 2 回目)  
平成 15 年度野生動物保護募金の助成団体に決定。
  - 9.21 ヒナモロコ放流会(1 回目)  
水辺の教室 午前 10:00~
  - 10.19 ヒナモロコ放流会(2 回目)

## 《 規 約 》

- 1.名称 「ヒナモロコ里親会」略称を「里親会」とする。  
英文 Hinamoroko Foster-parents Club (略称 HFC)  
\*実行委員会の決定により、英文呼称を規約第一条に追記。(平成 13.11.)
- 2.目 的 ヒナモロコの飼育・繁殖・放流等の保護活動を行う。  
ヒナモロコの飼育・繁殖・放流等を記録し書類等に編纂<sup>へんさん</sup>して残す。
- 3.入会資格 ヒナモロコの飼育と増殖・放流等の活動に参加して、  
ボランティア精神を発揮できる個人又は団体。  
一般社会人としての常識を有する個人又は社会的に認知された団体で、  
この里親会を物理的・精神的、又は金銭的に支援することが出来る  
個人又は団体。
- 4.人事 任期1年 再任、兼任可。  
名 称 ; 顧 問 実行委員長 実行委員  
書 記 会計監事 業務部(含む経理)
- 5.職務の内容  
顧問 ヒナモロコに関するアドバイス等々全般の助言。  
実行委員長 対内・外向けの看板。  
里親会議をスムーズに運営するために必要な一切を実行委員との合議で  
決定する。議長・講師・書記・会計監事を適時実行委員を含む会員の中か  
ら任命する。また別途必要に応じて役員を選任する。  
実行委員 相互に分担して必要な任務に当たる。  
業務部(含む経理) 会の経理を担当する。里親会毎に集計して、会計監事の印鑑を  
受けるものとする。
- 6.会費 単年度毎の会費 個人又は団体 ￥2,000 -  
使用用途---一年間の通信費用その他
- 7.活動 目的を達成するための一切の行動。  
里親会の開催など 会員の募集  
広報通信誌の発行  
会を会たらしめるための一切の行動  
看板の作成 ゴム版と印鑑の作成  
会員証の発行  
その他、会員の建議・討論・合議によって決定する
- 8.懲罰規定 特になし。

平成 15 年 12 月 30 日

《會員名簿(順不同)》

順不同、

敬称略

姓 名	住 所	備 考
梶村 実	吉井町	建設業
国武 忠勝	吉井町	自動車販売 /賛助会員
斉藤 香代子	吉井町	吉井小学校
田主丸一麦寮	田主丸町	阿久根 靖男
大石 敏	三井郡北野町	田主丸養護学校
川島 和久	田主丸町	水縄小学校
刈茅 貴俊	田主丸町	町議員
麻生 千佐子	田主丸町	自営業
金岡 洋行	田主丸郵便局	郵便局長
橋本 芳彦	田主丸町	口グ工房
田代 義隆	久留米市	法光寺浄水場
宮崎 靖	久留米市	柴刈小学校
安部 剛	久留米市	筑後川工事事務所
山川 英毅	久留米市	
中村 民治	高田町下楠田	魚店
高橋 忠祐	大牟田市	
中嶋 仁	瀬高町	会社員
河野 正行	筑後市	会社員
村下 満寿雄	夜須町	公務員
杉山 宗一郎	北野町	会社員
藤崎 寿人	那珂川町	司法書士
重成 芳伸	福岡市城南区	会社員
平地 康登	志摩町芥屋	学習塾経営
山口 博	宇美町	会社員
西村 憲治	福岡市博多区	自営業
御幸 信夫	大野城市	会社員
吉武 政広	大野城市	会社員
佐藤 俊郎	福岡市博多区	会社員 /賛助会員
橋本 哲男	久留米市	田主丸養護学校
村上 政利	田主丸町	会社役員

	栗林 茂	大牟田市	大牟田高校
	木村 清朗	福岡市東区	元九州大学教授
	草野 健一	福岡市中央区	会社員
	秋山 定夫	田主丸町	会社員
	田主丸中学校	田主丸町	古賀恒徳 校長
	井上 章	福岡町	大学職員
	大城 小学校	北野町	秋吉先生
	岩佐 毅	田主丸町	前田主丸中学校長 /賛助会員
	行徳 一三	田主丸町	公務員 /賛助会員
	福田 勉	鳥栖市	九環福医専門学校
	三宅 基裕	福岡市東区	マリーンワールド
	境 利子	久留米市	津福小学校校長
	東 純子	田主丸町	竹野小学校
	海の中道海洋生態 科学館	福岡市東区	マリーンワールド
	梶原 信宏	田主丸町	小学校教員
	熊谷 雅博	久留米市	付属久留米小学校
	大原 弥寿男	福岡市早良区	福岡県議会議員
	荒瀬 尚三	福岡市早良区	早良小学校
	高山 憲行	甘木市	朝倉農業高等学校
	高田 克博	飯塚市	会社役員
	東井 香代子	奈良市	教員 /賛助会員
	内野 小学校	福岡市早良区	学校
	下須賀 みえ	北九州市	主婦
	合 計	53 名	

\*

編集；「ヒナモロコ里親会」実行委員会

実行委員長 大石 敏

顧問 木村清朗

実行委員 橋本哲男

村下満寿雄

藤崎寿人

橋本芳彦

山口 博

業務・会計 村上政利

会計監査 田代義隆

書記 山川英毅

事務所；連絡事務等 村上政利

福岡県浮羽郡田主丸町大字田主丸 1204-50

電話 09437-4-4052

Fax 09437-4-4051

mail; titanist2003@ybb.ne.jp

発行； 平成 16(2003)年 3 月 15 日